

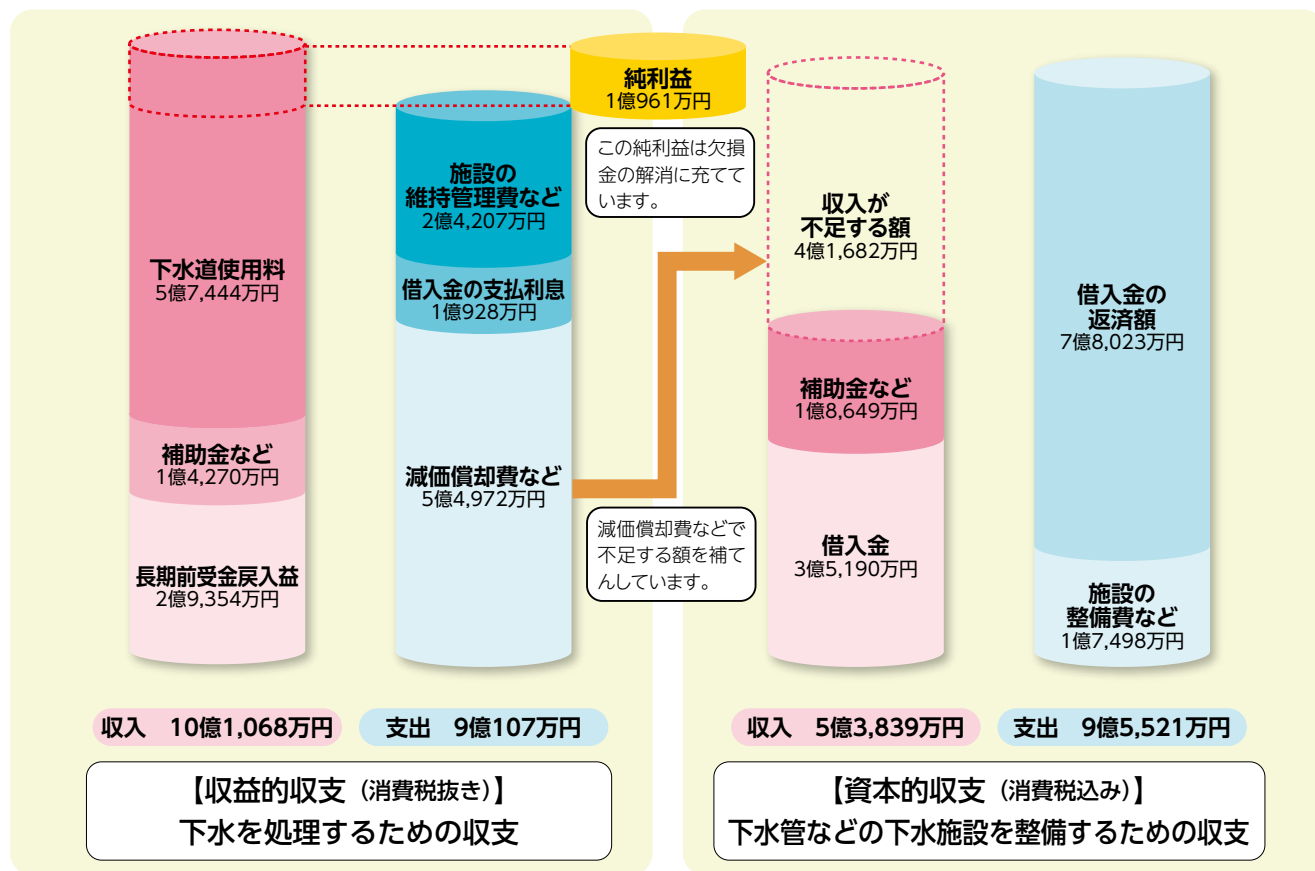
下水道事業



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

下水道事業は、公共下水道と農業集落排水の2つの事業を実施しており、公営企業として運営しています。水道事業同様の収支区分があり、収益的収支は、下水の処理にかかる費用や下水道使用料の収入など、企業の営業活動を表しています。資本的収支は、下水道管や処理場などの整備にかかる工事代金、借入金の借入や返済など、企業の資本を増やすための活動を表しています。

八幡町に完成した雨水幹線（工事前後の様子）



【下水道事業の業務量】

項目	説明	令和2年度	令和元年度	前年度比
処理区域内人口	下水道が整備されている区域内の人口	23,896人	24,296人	△ 400人
水洗化人口	下水道管に接続している人口	21,406人	21,789人	△ 383人
年間総処理水量	家庭などから流された年間汚水量	2,835,960m ³	2,834,365m ³	1,595m ³
年間有収水量	総処理水量のうち使用料の対象となった汚水量	2,625,217m ³	2,624,743m ³	474m ³

下水道事業会計決算の概要

収益的収支については、収支差し引きで1億961万円の純利益が発生しました。この利益は、累積している欠損金の解消に充て、欠損金の残高は1億3,401万円に減少しました。

下水道事業は、借入金の返済額が年間7億円を超えており、使用料収入だけでは賄えないため、一般会計からの補助金などを受け入れて事業を行っています。

令和2年度に実施した主な事業

令和2年度は、浸水対策事業として昨年度から繰越した八幡町の雨水幹線工事を実施したほか、薬師堂地区の農業集落排水施設を公共下水道へ接続する工事を実施しました。

また、長寿命化事業として市内28カ所のマンホール蓋の更新工事を実施しました。

今後は「白石市下水道ビジョン」に沿って事業を行い、ビジョンの基本理念である「安全で快適な生活環境の構築に貢献する下水道」を目指し、効率的な事業運営に努めます。

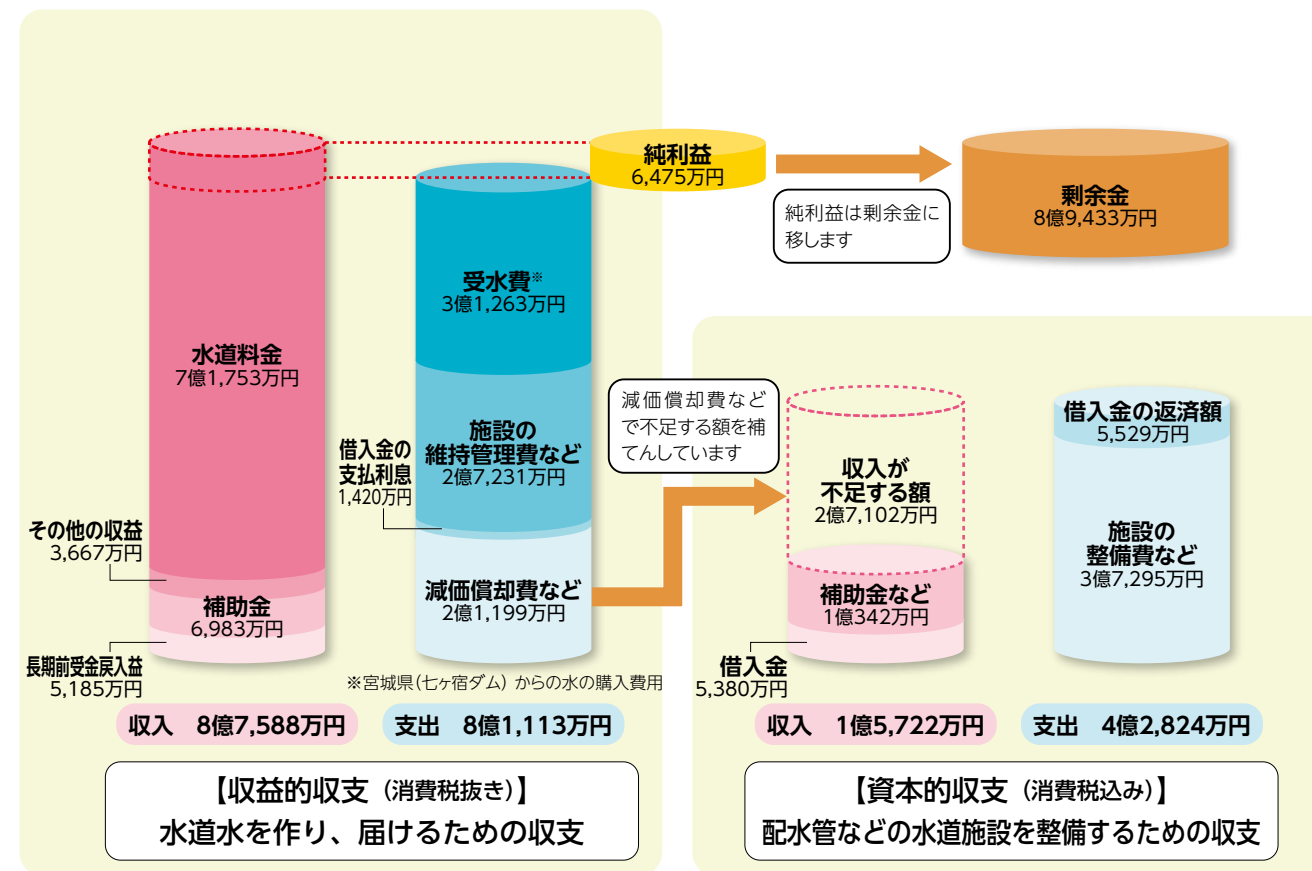
水道事業



日本水道協会キャラクター「Dr. すいどー」

水道事業は、公営企業として「地方公営企業法」に基づき、水道料金を主な財源とし「独立採算制」を基本に事業を運営しています。公営企業の収支は、一般会計とは違い、「収益的収支」と「資本的収支」という区分があります。収益的収支は、水道水をつくり、皆さんの家庭まで送り届けるための費用や水道料金による収入など、企業の営業活動を表しています。資本的収支は、建設工事代や工事代のために借り入れた収入など、企業の資本を増やすための活動を表しています。

きれいな水が湧き出すニッ森水源



【水道事業の業務量】

項目	説明	令和2年度	令和元年度	前年度比
給水人口	水道により給水を受けている人口	31,609人	32,146人	△ 537人
給水戸数	水道により給水を受けている戸数	13,664戸	13,651戸	13戸
年間総配水量	配水池などから配水された年間水量	3,818,914m ³	4,068,137m ³	△ 249,223m ³
年間有収水量	総配水量のうち料金の対象となった水量	2,973,313m ³	2,991,258m ³	△ 17,945m ³

水道事業会計決算の概要

収益的収支については、収支差し引きで6,475万円の純利益が発生しました。この純利益は、老朽化した配水管などの水道施設の更新に備え、剰余金に移します。

資本的収支については、支出に対し収入が少なく、2億7,102万円の不足が生じました。この不足分は、収益的収支において減価償却費などの現金支出を伴わない費用によって確保した財源により補っています。

令和2年度に実施した主な事業

令和2年度は、大鷹沢三沢地区などの老朽化した配水管の更新工事や大鷹沢大町ポンプ場の新築工事、前年度から繰越している国道113号の配水管を耐震性の高い水道管に更新する工事を行いました。また、国からの補助金を活用した中央通り線の配水管の更新工事などに着手しています。

今後は「白石市水道ビジョン」に沿って事業を行い、ビジョンの基本理念である「安心・安全で将来に受け継げる水道」を目指し、効率的な事業運営に努めます。